

## 令和4年度大野市児童館運営委員会結果(概要)

### 1 こども支援課長あいさつ

こども支援課加藤課長があいさつ

### 2 委嘱状の交付

委員の交代に伴い委嘱状を机上交付

### 3 会長及び職務代理者の互選について

泉町2区区長の滝本委員を会長に、学識経験者の福田委員を職務代理者に互選

### 4 議事

#### (1) 令和3年度事業報告について

令和3年度合同事業について

令和3年度放課後子ども教室との連携事業について

資料No.1により事務局から説明

#### (2) 児童センター利用状況について

資料No.2により事務局から説明

#### (3) 令和4年度事業計画について

資料No.3により事務局から説明

#### (4) 意見交換

##### 【主な意見】

委員:児童センターでは、新型コロナウイルス感染症対策を行っていると思うが、利用について制限を行ったりしているか。

事務局:先日7月19日に、福井県感染拡大警報が発令されたため、自由来館を休止し、放課後児童クラブのお子さんのみを受け入れている。

委員:児童センターでの行事ごとを一生懸命されている。民生委員として行事に参加しているが、コロナ禍でなかなか支援できずにいる。しかし、行事では、ザリガニ釣りなど色々な経験をさせてもらっている。児童センターの先生が、交流を重んじてくれており、雰囲気良くてありがたい。交流は大事だと思うので、参加人数を増やしていけるように民生委員も働きかけたい。

委員:上庄地区や富田地区には児童センターがない。夏休みは子どもを安全に

委員：預かってもらう場所がない。普段は放課後子ども教室が開設されているが、夏休みなどの長期休業中は西部児童センターにお世話になっている。児童センターがある地域とない地域で差があるように思う。

事務局：村部の長期休業中の子どもの居場所の確保が課題になっている。今年度は、第2期大野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの年になっている。放課後や長期休業中の子ども居場所や同じサービスを受けられるような体制に向けて、1年かけて検討する。

委員：児童センター同士での交流があり、よいと思う。一方、放課後子ども教室においては、各学校と交流ができないため、交流していただけるとありがたい。中学校再編で、市街地の学校に通う子どもの交流も必要になってくるため、低学年の時から交流ができると、スムーズに合併が進むと思うので考えてほしい。

事務局：平成26年度から、放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携事業を行っている。今後も継続して行っていきたい。

委員：放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携事業には、富田地区や上庄地区からの参加者もいたのか。

事務局：村部の子どもたちも参加していた。

委員：放課後子ども教室の方にも行事の良さを分かっていたいて、少しずつ参加者が増えて充実するとよい。事務局から説明があったが、放課後の居場所についてのアンケートが配布されている。内容がとても考えられている印象を持った。このアンケートをどのように生かしていくか。

事務局：放課後の居場所作りということで、夏休み前に保護者にアンケートをお配りしている。アンケートの目的は、第2期大野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しにおいて、長期休業中、放課後の子どもの居場所を検討するためである。今後、アンケート調査をもとに、大野市子ども・子育て会議において議論していただく。

委員：児童センターの先生も工夫しているのが伝わってくる。困りごとや要望なども伝えていただきたい。

事務局：長期休業期間は、小学校の支援員や安全管理員が放課後児童クラブに回っていただけるようになったため、手厚く子どもたちを見守れるようになった。保護者も安心して子どもを預けていただけたと思う。児童センターでの

事務局：様子を上手に保護者に伝えてコミュニケーションを取っていききたい。

委員：夏休みの子どもの様子はどのように感じるか。また、コロナ禍と、コロナ禍前とでは、子どもたちの様子は違うのか。

事務局：西部児童センターでは、長期休業期間になると村部の子どもたちも預かっているが、小学校で固まるのではなく、色々な学校の友達と仲良く過ごしている。

東部児童センターにおいても、子どもたち同時仲良く過ごしている。コロナ禍で職員と子どものふれあいも少なくなったように感じる。子どもたちも距離を取ることに慣れてきたが、マスクを着用することで熱中症になりやすいため、一段と気をつけている。

南部児童センターは小学校から遠く、下校時に心配になることがあるが、令和3年度から、教育委員会部局になり、学校との連絡が大変密になり、協力して子どもたちのことを共有できるようになった。

北部児童センターについても、小学校からの距離が長いことから、小学校教諭・こども支援課職員・児童センター職員が合同で、下校指導を行った。

和泉児童センターは少人数であるが、他センターと同じく、新型コロナウイルス感染症対策を徹底している。

委員：学校との連携ができていないセンターと、そうでないセンターがあるように思う。学校の先生と連携する流れを作って、教育委員会部局で協力してほしい。

委員：昨年度も、長期休業中の村部の子どもの居場所について課題となっていた。村部から、西部児童クラブを利用する方も多いとのことで、村部の方も居場所を必要としていると思うので、第一に考えて来年度に向けて進めていきたい。

事務局：今年度の放課後の居場所についてのアンケートを取って慎重に進めていきたい。

## 5 閉会

## 6 その他

参加負担金を伴う収支確認について各区長が確認